

登壇者PROFILE



西村 明宏

環境大臣

1960年福岡県生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了。早稲田大学等で教鞭を執った後、衆議院議員政策秘書、大蔵大臣秘書官を務める。2003年11月の衆議院議員総選挙に宮城3区から出馬し初当選。内閣府大臣政務官、国土交通副大臣、復興副大臣、内閣府副大臣、内閣官房副長官、衆議院国土交通委員長等を歴任後、2022年8月に発足した第2次岸田改造内閣において、環境大臣 兼 内閣府特命担当大臣（原子力防災）に就任。



政井 マヤ 氏

フリーアナウンサー

メキシコ生まれ。上智大学文学部社会学科卒業後、フジテレビ入社。「笑っていいとも!」「スーパーニュース」「ワッツ!? ニッポン」など担当。2007年フジテレビを退社。ラジオのパーソナリティ、各イベントの司会、TVにてコメンテーターなどで活躍中。2014年1月に、日メキシコ交流年親善大使を委嘱される。現在、3児(2007年 女児出産・2011年 男児出産・2017年 男児出産)の母。



中野 美奈子 氏

フリーアナウンサー

香川県丸亀市出身。慶應義塾大学商学部卒業後、2002年にフジテレビジョンに入社。入社1年目より、『めざましテレビ』のキャスターに起用。2009年12月にはオリコン調査「第6回好きな女性アナウンサーランキング」で1位となる。2011年、東日本大震災発生後にFNSチャリティキャンペーンの番組の取材で被災地に1週間滞在し現地取材。被災した家族、子供たち取材し、報道した経験を持つ。現在は、フリーアナウンサーの肩書と共に地元香川県丸亀市に移住。2児の母親として子供たちとの日常をSNSで発信し人気を博す。



なすび 氏

タレント 福島環境・未来アンバサダー

本名：浜津智明。1975年8月3日生まれ 福島県出身。1998年～1999年、日本テレビ系「進め!進め!少年」内の企画「電波少年的感覚生活」で一躍注目を浴び、本格的に芸能デビュー。以後、元々は俳優志望だった事もあり、舞台を中心にテレビや映画と活動の幅を広げている。又、2011年3月11日の東日本大震災以降、地元福島県の復興と再生を応援活動も精力的に続けており、登山未経験ながらも福島に元気で元気、夢と希望を世界最高峰のエベレストを目指し、三度失敗したものの諦めずに挑戦を続け、2016年5月19日、四度目の挑戦でエベレスト登頂を果たした。他にも、2015年11月～2016年3月の四か月間(実質44日間)で、青森県八戸市から福島県相馬市迄、東日本大震災の被災地沿岸部に設定されたロングトレイルルート「みちのく潮風トレイル」の全長約1000kmを踏破している。現在は、福島県内でラジオやテレビのレギュラー番組も担当しており、あつたかふくしま観光交流大使としても活動中。近年では、2020年に環境省の福島環境・未来アンバサダー第一号にも就任し、安達太良山観光大使、NARAHIA アンバサダー(格闘部)、広野夢大使(広野町)にも任命され、福島県内外を問わず、様々なイベント等への出演も続けている。



佐藤 努 氏

北海道大学大学院 工学研究院 環境循環システム部門 資源循環材料科学研究室 教授

1992年早稲田大学大学院理工学研究科資源及材料工学専攻博士課程修了。博士(工学)。日本原子力研究所研究員、金沢大学自然計測応用研究センター准教授、北海道大学大学院工学研究院准教授などを経て、2011年より現職。専門は環境鉱物学。特に放射性廃棄物の地層処分や休廃止鉱山の廃水処理における鉱物の応用を専門としている。



高村 昇 氏

長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授
東日本大震災・原子力災害 伝承館 館長

1968年長崎県生まれ。長崎大学医学部、同大学院医学研究科博士課程修了後、同大学医学部助手、同大学院公衆衛生学分野准教授を経て、2008年4月より長崎大学原爆後障害医療研究所教授。専門は分子疫学、国際放射線保健学。公衆衛生学、内分泌学、内科。2020年より東日本大震災・原子力災害伝承館の館長を務める。



開沼 博 氏

東京大学大学院 情報学環 准教授

1984年福島県生まれ。東京大学文学部卒、同大学院学際情報学府博士課程単位取得満期退学。専攻は社会学。福島県立医科大学非常勤講師、東日本大震災・原子力災害伝承館上級研究員、ふくしまFM番組審議会委員の他、2016年よりNHK福島放送局「こでらんに5」のパーソナリティを務めるなど地域での情報発信にも関わる。著書に「日本の盲点」「はじめての福島学」など。



吉田 学 氏

HAMADOORI13 代表理事

2011年3月11日東日本大震災を福島第一原子力発電所構内で経験。避難生活をしながら原子力災害復旧に携わる。2013年から株式会社タイススタイル設立の切掛けとなった東日本大震災罹災証明書発行に伴う家屋調査に従事し、帰還困難区域から解除される檜葉町、浪江町などを見てきた。復興の時差を抱えながら再建に向かう地域の姿を肌で感じ「まちづくり、産業づくり、人づくりは、地域の連携が必要で次世代を担う若者自ら率先して行わなければ、真の復興はないのでは」という思いが高まる。このような思いから2020年7月HAMADOORI13は50人程度の若者による任意団体として発足。応募者を増やしながら2021年1月一般社団法人HAMADOORI13を設立。地域同士のつながり強化と大熊町の新しい町づくり活動を行う。

遠藤 瞭 氏

大学院生
(東北大学工学研究科 量子エネルギー工学専攻)



前佛 和秀

環境省 環境再生・資源循環局長

2023年7月より環境省環境再生・資源循環局長に着任。

知っていただきたい
福島の課題が
あります。
「除去土壌」の
これから。

福島、
その先の
環境へ。

対話フォーラム

PROGRAM

日時 2023年8月19日(土)
14:00~16:00

会場 THE GRAND HALL
〒108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー3階

14:00

開会

開会挨拶

環境大臣 西村 明宏

県外最終処分に向けた取組みの説明

対話セッション

登壇者

西村 明宏

環境大臣

政井 マヤ 氏

フリーアナウンサー

中野 美奈子 氏

フリーアナウンサー

佐藤 努 氏

北海道大学大学院 工学研究院
環境循環システム部門
資源循環材料科学研究室 教授

高村 昇 氏

長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授
東日本大震災・原子力災害 伝承館 館長

開沼 博 氏

東京大学大学院 情報学環 准教授

なすび 氏

タレント
福島環境・未来アンバサダー

吉田 学 氏

HAMADOORI13 代表理事

遠藤 瞭 氏

大学院生
(東北大学工学研究科
量子エネルギー工学専攻)

前佛 和秀

環境省 環境再生・資源循環局長

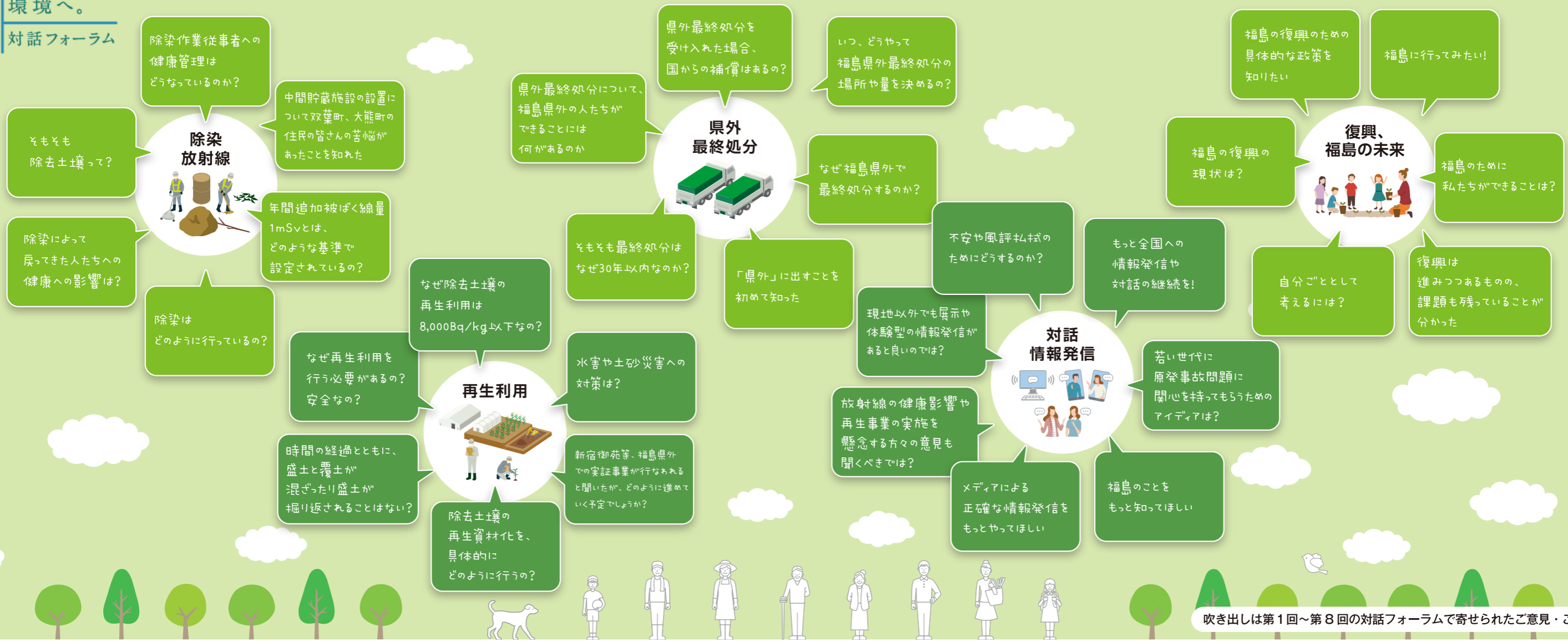
16:00

閉会



主催：環境省

「福島、その先の環境へ。」対話フォーラム 対話ボード



吹き出しは第1回～第8回の対話フォーラムで寄せられたご意見・ご質問

付箋のご使用方法

福島環境再生事業に関するあなたの疑問や感想をこちらの付箋に書いて会場内対話ボードの該当する部分に貼ってください。

- 記入される内容に合わせて、付箋の色を変えてください。
- お配りしているサインペンで、可能な限り端的に、ワンワード・ワンフレーズでご記入ください。



この色の付箋に
疑問をご記入ください。



この色の付箋に
感想をご記入ください。